広島県告示第889号

瀬戸内海環境保全特別措置法(昭和48年法律第110号)第5条第1項の規定による特定施設の設置許可の申請があったので、同条第4項の規定によって、その概要を次のとおり告示する。

平成30年12月25日

広島県知事 湯 﨑 英 彦

1 申請者の住所及び氏名並びに工場又は事業場の所在地及び名称

申請者の住所及び氏名	広島県廿日市市大野337番地4 チチヤス株式会社 代表取締役 内海 計治
工場又は事業場の所在地及び名称	広島県廿日市市大野338番地1 他46筆 チチヤス株式会社

2 申請の内容

2-ロ 畜産食料品製造業の用に供する洗浄施設5基を設置する。

(1) 特定施設の種類,能力及び使用の方法

(その1) 新設

	種							类	頁	2-ロ 畜産食料品製造業の用に供する洗 浄施設 ((19) 定置自動洗浄設備(1))	2-ロ 畜産食料品製造業の用に供する洗浄施 設 ((20)定置自動洗浄設備(2))		
	能力力							7	b	30,000L/h(洗浄水量)	20,000L/h(洗浄水量)		
工	工	事	着	手	予	定	年	月	日	許可後直ちに	許可後直ちに		
期	工	事	完	成	予	定	年	月	月	許可後直ちに	許可後直ちに		
等	使	用	開	始	予	定	年	月	日	許可後直ちに	許可後直ちに		
	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間							使用時	時間	0 時~24時,15時間/日	0 時~24時,15時間/日		
			(侵	使用の	季節	的変	動)			(季節的変動なし) (季節的変動なし)			

//.	項		目	通常	最 大	通常	最 大	
使		水素イオン濃度(単位:	水素指数)	3.0~11.0	3.0~11.0	3.0~11.0	3.0~11.0	
用		化学的酸素要求量		250	320	250	320	
	排等出るの	浮遊物質量		20	40	20	40	
の	さの	室 素 含 有 量	(N/A)	45	83	45	83	
方	る状	状	(単位: mg/L)	7	10.5	7	10. 5	
法	れる汚水態	アンモニア, アンモニウム化合物, 亜硝酸化合物及び硝酸化合物	ш5/ Б)	16	32	16	32	
	排出	 される汚水等の1日当 (単位:m³)	もたりの量	70	80	55	65	
	汚	水 等 の 排	出 先	汚水気		汚水処理施設		

(その2) 新設

	種類類				2-ロ 畜産食料品製造業の用に供する洗 浄施設 ((21)定置自動洗浄設備(3))				2-ロ 畜産食料品製造業の用に供する洗浄施 設 ((22)定置自動洗浄設備(4))								
	能力					20,000L/h(洗浄水量)			15,000L/h(洗浄水量)								
工	工	事	着	手	予	定	年	月	日	許可後直ちに				許可後	後直ちに		
期	エ	事	完	成	予	定	年	月	日		許可	後直ちに			許可後	後直ちに	
等	使	用	開	始	予	定	年	月	日		許可	後直ちに			許可後	を直ちに	
	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)						時間	0時〜24時,20時間/日 (季節的変動なし)					0 時~24時, (季節的	20時間/日 変動なし)			
	項								目	通	常	最	大	j	董 常	最	大

使		水素イオン濃度(単位:	水素指数)	3.0~11.0	3.0~11.0	3.0~11.0	3.0~11.0	
		化学的酸素要求量		250	320	250	320	
用	排等出るの	浮遊物質量		20	40	20	40	
0	さっ	室 素 含 有 量	())(1)	45	83	45	83	
	れる状	大	(単位: mg/L)	7	10. 5	7	10. 5	
方法	れる汚水態	アンモニア, アンモニウム化合物, 亜硝酸化合物及び硝酸化合物	ilig/ L)	16	32	16	32	
	排出	される汚水等の1日当 (単位:m³)	もたりの量	130	150	250 280		
	汚	水 等 の 排	出 先	汚水気	D.理施設	汚水処理施設		

(その3) 新設

	種							类	頁	2-ロ 畜産食料品製造業の用に供する洗 浄施設 ((23)定置自動洗浄設備(5))			
	能 力							20,000L/h(洗浄水量)					
I	工事着手予定年月日				日	許可後直ちに							
期	工	L 事 完 成 予 定 年 月 日				日	許可後直ちに						
等	使 用 開 始 予 定 年 月 日				許可後	「後直ちに							
	使用	時間				当た 的変動		使用甲	寺間	0時〜24時,20時間/日 (季節的変動なし)			
	項目						目	通 ′	常	最 大			
使		水素イオン濃度(単位:						、素指	数)	3.0~11	. 0	3.0~11.0	
文	111 ArAr	化	学的	酸	長要求量					250		320	
用	排等出	浮	浮 遊 物 質 量			:			20		40		

の	さのれ	窒	素	含有	量	(単	绝:	45	83				
+	る状汚	燐	含	有	量	mg/	/L)	7	10.5				
方	水態			ア,ア									
法				合物,〕 及び硝i				16	32				
		合物		× 0 F(1)									
	排出	され		水等の		自たり	167	198					
			(〔単位:ı	n')								
	汚水等の排出先 汚水処理施設												

(2) 汚水等の処理の方法

変更なし

(3) 排出水の汚染状態

変更なし

- 3 事前評価に関する事項を記載した書面の縦覧期間及び縦覧場所
- (1) 縦覧期間

平成30年12月25日から平成31年1月15日まで

(2) 縦覧場所

広島県環境県民局環境保全課及び広島県西部厚生環境事務所環境管理課並びに廿日市市環境政策課